

平成28年度

— 第9回（定例・臨時） —

教育委員会議事録

開 会	平成28年 9月 2日	14時30分				
閉 会	平成28年 9月 2日	15時30分				
会議場所	教育委員室					
委員出欠	花山院弘匡	出	佐藤 進	出	森本哲次	出
	藤井宣夫	出	高本恭子	出		
議事録署名	教 育 長					
委 員	教育長職務代理者					
書 記	奈良県教育委員会事務局 企画管理室					

議 案 及 び 議 事 内 容	結 果
<p>次 第</p> <p>議決事項 1 教育委員会規則の改正について</p> <p>議決事項 2 平成28・29年度奈良県教育支援委員会委員の委嘱及び任命について</p> <p>議決事項 3 奈良県指定文化財に係る文化財保護審議会への諮問について</p> <p>報告事項 1 平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校（小学部・中学部）の教科用図書の採択について</p>	<p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>可 決</p> <p>承 認</p>
<p>○吉田教育長「ただ今から、平成28年度第9回定例教育委員会を開催いたします。本日は委員全員出席で、委員会は成立しております。」</p>	
<p>○吉田教育長「議決事項2については人事に関する案件、議決事項3は諮問前の候補案件であり、当教育委員会においては非公開議案として審議すべきものと考えます。委員のみなさまにお諮りします。いかがでしょうか。」</p> <p style="text-align: center;">※ 各委員一致で可決</p> <p>○吉田教育長「委員の皆様の議決をいただきましたので、議決事項2及び議決事項3については、非公開議案として審議することといたします。」</p>	<p>可 決</p>
<p>議決事項 1 教育委員会規則の改正について</p>	
<p>○吉田教育長 「それでは、議決事項1『教育委員会規則の改正』について、ご説明をお願いします。」</p> <p>○中村次長 「教育委員会規則の改正について、ご説明します。本年3月末に策定されました教育振興大綱の進行管理を強化するため、県教育委員会事務局内に、新たに『教育政策推進室』を設置したいと考えています。そのための教育委員会規則の改正です。</p> <p>教育政策推進室は、本県教育の目指すべき姿や施策の方針を示した教育振興大綱を強力に推進するために、教育振興課と連携を図りながら、教育行政全般にわたる重要施策の企画・立案、教育委員会内の各課室及び教育研究所における取組の進行管理と達成状況の検証改善などを行うために、本年10月より設置したいと考えています。</p> <p>組織としては、現在の企画管理室企画法令係を教育政策推進室企画法令係の1室1係として、室長を配置するものです。所掌事務は、現行の企画法令係の所管に、新たに教育振興大綱の推進に向けた進行管理を加えます。所管する業務は企画法令係では、これまでも教育振興大綱の策定に向けた業務も行っていましたが、今回の組織の設置によって教育振興大綱の進行管理等の業務を担い、県教育委員会が所管する教育施策の取組を従前以上に強力に進めたいと考えています。また組織力も高まると考えています。</p> <p>この組織の設置による教育委員会事務局全体の定数・現員の増減はありません。</p> <p>この組織編成については、9月14日水曜日に開催される9月定例県議会文教くらし委員会の事前委員会で教育長から報告していただく予定です。</p> <p>以上です。」</p>	

議案及び議事内容

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見はございませんか。」

○吉田教育長 「ご意見がないようですので、議決してよろしいか。」

※各委員一致で可決

○吉田教育長 「議決事項1については可決いたします。」

報告事項1 平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校（小学部・中学部）の教科用図書
の採択について

○吉田教育長 「それでは、報告事項1『平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校
（小学部・中学部）の教科用図書の採択』について、ご報告をお願いします。」

○深田学校教育課長 「平成29年度に使用する県立中学校及び特別支援学校（小学部・中学部）
の教科用図書の採択のうち、前回8月19日開催の定例教委員会でご指摘をいただいた、奈良養護
学校整肢園分校の教科書の採択についてご報告します。

奈良養護学校整肢園分校の廃止が決定後、学籍が整肢園分校から奈良養護学校本校へ移るた
め、奈良養護学校の採択教科書を使用することになります。31日までに採択する必要があるた
め、教育委員会の権限に属する事務の一部委任と臨時代理に関する規則第4条第2項により、教
育長の臨時代理で、平成29年度県立中学校及び県立特別支援学校（小学部・中学部）で使用す
る教科書を資料のとおり採択しました。

中身については、整肢園分校の小学部について、使用する児童がいないため削除し、奈良養護
学校の採択を一部加えました。また、中学部については、使用する生徒がいないため削除させ
ていただきました。

以上です。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見はございませんか。」

○吉田教育長 「ご意見がないようですので、原案どおり承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長 「報告事項1については承認いたします。」

その他報告事項

○吉田教育長 「その他報告事項について、ご報告をお願いします。」

○深田学校教育課長 「平成29年度奈良県立特別支援学校幼稚部・高等部入学募集要項につい
て、ご報告します。

入学者を募集する学校名と障害種別は資料のとおりです。応募資格については学校教育法施行
令第22条の3に該当する障害者で、保護者ととも奈良県に居住する者です。募集する学科は資
料記載のとおりで、盲学校とろう学校については幼稚部を設置しています。募集人員は平成29年
1月にご報告させて頂く予定です。実施内容については、障害の状況に応じた検査としておりま
す。

軽度の知的障害のある生徒を対象とする高等養護学校については、日程が異なりますので既に

議案及び議事内容

別途募集要項を示しています。

また今年度末で奈良養護学校整肢園分校を廃止します。平成29年4月から分校がありました東大寺福祉療育病院内の、重症心身障害児施設東大寺光明園の奈良養護学校への通学生を除いた病弱部門、小学部、中学部、高等部児童生徒への訪問教育を実施する予定です。

以上です。」

○春田生徒指導支援室長 「平成28年度奈良県高等学校生徒会連絡会災害ボランティア活動についてご報告します。

平成23年3月に東日本大震災の時に東北に行かせていただいた災害ボランティア活動を機に、毎年夏に続けており、今回で第6回になります。今回は野迫川村において、道を整備する作業と、復旧されたアマゴ養殖場での餌やり作業等をさせていただきました。

10校から25名が、朝早い時間の集合にも関わらず1日しっかりと取り組んでくれました。

以上です。」

○吉田保健体育課長 「第50回奈良県小学生陸上競技記録会及び第59回奈良県学童水泳記録会についてご報告します。

今年で第50回の節目を迎える奈良県小学生陸上競技記録会を、7月28日と29日の二日間にわたり、橿原公苑陸上競技場で開催しました。この大会は県内小学生に陸上競技に親しむ機会を提供し、体力の向上や生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力を育成すること等を目的に開催しているものです。

28日に行われました南部大会には54校1,813名、29日の北部大会には77校1,688名、合わせて131校3,501名の子どもたちが100m走、200m走、400mリレー、走り幅跳び、走り高跳びの種目に挑戦しました。公認の陸上競技場で、子どもたちが日頃の成果を思いっきり発揮して生き生きと躍動する姿を垣間見ることができました。

第59回奈良県学童水泳記録会は8月9日に天理プールで開催しました。この大会は県内小学生に水泳に親しむ機会を提供し、体力向上及び生涯にわたって運動やスポーツに親しむ資質や能力を育成するとともに、水泳競技の普及を図ることを目的に開催しているものです。

本年度は県内80校843名の子どもたちが、50mと100mの自由形や平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの個人種目と、200mフリーリレー、メドレーリレーで日頃の練習の成果を競い合いました。大変暑い中でしたが、公認プールで子どもたちは全力で泳ぎました。

引き続き、陸上競技記録会及び学童水泳記録会の取組が拡充するよう、機会をとらえて発信していくとともに、体力の向上や運動の習慣化につながる取組を推進していきます。

以上です。」

○吉田教育長 「このことについて、何かご意見はございませんか。」

○花山院委員 「昨年度の災害ボランティアは、どのような活動をされましたか。」

○春田生徒指導支援室長 「河川の氾濫があった兵庫県丹波市に行かせていただき、地元の高校生と一緒に活動させていただきました。それまでは十津川村に行かせていただいていた。」

○花山院委員 「大変良い活動です。(災害ボランティアなので)活動が遠方となっていますが、機会があればぜひ地元においても活躍していただきたいと思います。」

○吉田教育長 「陸上競技記録会と学童水泳記録会は、参加児童の数は増えつつあるのですか。このまま増えても大丈夫でしょうか。」

○吉田保健体育課長 「県内児童の数は減少傾向にありますが、逆に記録会への参加児童数は増えつつあります。

橿原公苑陸上競技場、天理プールの公認競技場で競技を体験することが重要ですが、一方でキャパシティの問題があり、特に水泳記録会ではプログラムの都合でリミットは1,000名が上限と

議案及び議事内容

考えています。」

○森本委員 「生徒会連絡会の取組でなく、各高等学校においてボランティア活動を継続実施している学校はありますか。」

○春田生徒指導支援室長 「災害ボランティアとしては、この取組の他、西大和学園高校も実施されています。県立高校は現在のところ把握していません。

災害ボランティア以外であれば、社会参加活動として県立高校全校で取り組んでいただいています。取組は様々ですが、例えば平城高校や桜井高校では毎月清掃活動をされていると聞いています。」

○森本委員 「災害や震災が多い、或いは起こった地域では、ボランティアの体制や意識が育まれています。奈良は災害や震災が少ないため、いざというときに行動させるためには、そのような自主的なものでなくて教育として、これから必要になるのではないのでしょうか。」

○春田生徒指導支援室長 「生徒会連絡会でも協議させていただきます。また、ボランティアだけでなく、朝の小学生登校の横断見守りを高校生が行う等、小・中・高校生と地域住民の活動を今年は12地域で取り組んでいます。地域で顔の見える関係をつくっていて、今後はこの活動を拡充させたいと思います。」

○吉田教育長 「ボランティア精神を育む教育課程や、学校教育の中で継続的に（ボランティア活動を）実施すること等、奈良県も検討すべきと思います。」

○春田生徒指導支援室長 「（他府県の取組等を）確認して今後検討します。」

○吉田教育長 「他にご意見がないようですので、原案どおり承認してよろしいか。」

※各委員一致で承認

○吉田教育長 「その他報告事項については承認いたします。」

非公開議案

議決事項 2 平成28・29年度奈良県教育支援委員会委員の委嘱及び任命について

議決事項 3 奈良県指定文化財に係る文化財保護審議会への諮問について

非公開にて審議

○吉田教育長 「それではこれもちまして、本日の委員会を終了します。」